

記入例

住居確保給付金支給申請書					
フリガナ	カスガイ タロウ				
① 氏名	春日井 太郎				
② 生年月日	昭和・平成 50年 6月 10日 満(44)歳				
③ 電話番号	090-1234-5678		④性別	男・女	
申立事項	⑤ 次の(1)又は(2)の場合であること(いずれか該当する方に記載)				
	(1) 離職等の場合				
	離職等の時期				
	離職等した事業所				
	(2) 第4条第1号イに規定する場合				
	給与その他の業務上の収入を得る機会の減少の状況	令和3年〇月〇日より、コロナ感染症の影響により〇〇商店の仕事が減少し、〇月の勤務日数が20日から4日となった。			
	⑥ 離職等前に世帯の生計を主として維持していたこと又は申請月において維持していること				
	離職等前の雇用状況等、世帯の生計の維持にかかる状況	〇年〇月から〇〇商店で就労し、生計を維持している。			
	⑦ 次の(1)又は(2)のいずれかに該当していること(いずれか該当する方に記載)				
	(1) 住居を喪失していること				
住居を喪失した時期					
喪失した住居の住所					
現在の状況					
(2) 住居を喪失するおそれがあること					
現在の住所	春日井市〇〇町1丁目2番地 コーポ〇〇 123号室				
住居の家主等	愛知 花子				
喪失するおそれのある住居の家賃額	45,000円				
現在の収入状況等、住居喪失のおそれがある理由、状況等	毎月20万円の月額収入が、今月から4万円に減少した。預貯金も10万円を切り、食費、光熱水費を支払うと今月の家賃を支払うことができない。				
⑧ 申請者及び申請者と同一の世帯に属する者の収入及び預貯金が次のとおりであること					
フリガナ	カスガイ タロウ				合計
氏名	春日井 太郎				
続柄	本人				
性別	男				
生年月日	昭和50年6月10日				
収入(月額)	40,000円	円	円	円	
預貯金等	90,000円	円	円	円	
※申請日の属する月の収入(月額)が確実に推計できる場合はその額を、変動あるときは収入の確定している直近3か月間の平均収入を記載する。失業等給付、児童扶養手当等各種手当も合算する。					
上記の申立事項に相違なく、生活困窮者自立支援法施行規則(以下「規則」という。)第13条の規定により、必要書類を添えて生活困窮者住居確保給付金(以下「住居確保給付金」という。)の支給を申請します。					
私の個人情報、住居確保給付金の支給並びに臨時特例つなぎ資金及び総合支援資金の融資を行うために必要となる範囲で、規則第4条第1項第2号に規定する都道府県等、公共職業安定所、社会福祉協議会及び社会福祉事務所の間で相互利用されることについて了承します。					
また、裏面の注意事項について、同意します。					
令和 3年 〇月 〇日					
(宛先)春日井市長		自署		申請者氏名 春日井 太郎	

(注 意 事 項)

- 1 申請内容は正しく記載してください。偽りその他不正の行為によって住居確保給付金を受けたり、又は受けようとしたときは、以後住居確保給付金を受けることができなくなるばかりでなく、不正受給した金額の全部又は一部を徴収されることとなります。
- 2 受給中は、公共職業安定所に求職の申し込みを行うとともに、誠実かつ熱心に求職活動を行う必要があります。
- 3 支給に関して必要な範囲で、法第15条に基づき、報告等を求めることがあります。
- 4 支給決定に必要な範囲で、法第16条に基づき、社会福祉事務所から資産又は収入の状況につき、官公署に対し必要な文書の閲覧若しくは資料の提供を求め、又は銀行、信託会社その他の機関若しくは離職した事業主その他関係者に対し報告を求めることがあります。
- 5 支給決定に必要な範囲で、法第16条に基づき、申請者の居住する賃貸住宅の家主等に対し入居状況について報告を求めることがあります。
- 6 規則第14条に基づく就労支援に関する社会福祉事務所長の指示に従わない場合は、支給を中止します。
- 7 規則第17条に基づき、本給付金は賃貸住宅の家主等に直接振込等をされることにより申請者に対する支給となります。